

平成19年度上半期における年度計画の進捗状況等について

1 平成19年度上半期における年度計画の進捗状況について

(1) 項目別の進行状況について

各所管において19年度年度計画の進捗状況を的確に把握していただくとともに、下半期においても計画が着実に実施されることを目指し、上半期の進捗状況調査を実施した結果、年度計画421項目のうち、「未着手」は3項目でした。重要施策の取組状況（別紙参照）については、全体33項目中、今後具体的な取組を要する「検討中」が7項目あったものの、大半はスケジュールに沿って取組が実施されていることが確認されました。

|     | 項目   | 項目数 | 実施済 | 実施中 | 検討中 | 未着手 | 未着手率  |
|-----|--|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| I   | 大学の運営に関する目標を達成するための取組                      | 194 | 25  | 144 | 24  | 2   | 1.03% |
| II  | 地域貢献に関する目標を達成するための取組                       | 12  | 1   | 8   | 3   | 0   | 0.00% |
| III | 国際化に関する目標を達成するための取組                        | 19  | 5   | 8   | 5   | 1   | 5.26% |
| IV  | 附属病院に関する目標を達成するための取組*                      | 131 | 24  | 107 | 5   | 0   | 0.00% |
| V   | 法人の経営に関する目標を達成するための取組                      | 54  | 3   | 41  | 9   | 0   | 0.00% |
| VI  | 自己点検・評価、認証評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための取組 | 4   | 0   | 2   | 2   | 0   | 0%    |
| VII | その他業務運営に関する重要目標を達成するための取組                  | 7   | 2   | 5   | 0   | 0   | 0%    |
|     | 全体   | 421 | 60  | 315 | 48  | 3   | 0.71% |

\* 病院については附属病院・センター病院それぞれでカウントしている項目もあるため。

進捗状況

- ☆実施済→年度計画を達成している
- ☆実施中→年度内に達成できる見込みがたっている
- ☆検討中→十分に取り組めておらず、具体的な取組が必要である
- ☆未着手→調整を含め取組が実施できていない

(2) 未着手の項目について

10月末現在、着手できていない取組は次の3項目となっています。3項目以外でも取組に遅れが見られる項目については、下半期のスケジュールの見直し、作成をするなど適宜調整を行い、年度計画に沿った取組を年度内に着実に実施できるよう取り組む必要があります。

| 19年度年度計画   | 理由・今後の対応   |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>理系の博士後期課程では、最低1報を出版することが、学位規程内規に明記しており、より促進するために、後期課程修了までに国際会議に参加・発表する機会を複数回経験するように指導する。そのために「国際化推進センター」と協力し、海外派遣の補助金増額等の確保を行う。【国際総合科学研究科】</li> </ul> | 大学院改革プロジェクトで設置の検討がなされていた理系の新研究科は、教育の国際化の具体策として計画に入っていたが、新研究科の開設が平成21年4月に延期となったため、補助金の増額等の確保については未着手となった。 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>国際総合科学系は、学科目制を取っているため、コース長、専攻長などの管理職は学部教育・大学院教育・大学運営をこなす必要があり、そのサポート体制について検討する。【国際総合科学研究科】</li> </ul>   | サポート体制について「秘書やポスドク」の人事要望を昨年度に引き続き今年度も提出しているが、具体的な対策が行われておらず、引き続き要求していく。                                  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>学内関連部門間の連携を強化し、学内の情報共有化を図るための広報誌を年2回以上発行する。【国際化推進センター】</li> </ul>   | 担当職員の長期休暇により発行作業が未着手となっているが、12月までに1回目を発行する予定である。   |

## 2 中期計画の見直しを要する項目について

19年度は、中期計画の中間年という節目の年度にあたり、後半の3年間で確実に計画を実施できるよう、スケジュールを見直すとともに、取組を時期や内容、実施の意義といった面から再度精査し、必要に応じて軌道修正を行っていく必要があります。中期計画の見直しが必要であると思われる下記4項目については、代替案や今後の対応のあり方について、大学全体として検討を進めていきます。

| 中期計画  | 見直しが必要である理由 | 今後の対応 |         |      |        |      |  |  |    |   |   |
|---|-------------|-------|---------|------|--------|------|--|--|----|---|---|
| <p>【I-2-(1) 学部教育の内容等に関する目標を達成するための具体的方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な成績評価等の実施に向け、GPA(Grade Point Average)の導入を検討する。(国際総合科学部)</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="3">GPAの導入</td> </tr> <tr> <td>17年度</td> <td>～</td> <td>21年度</td> </tr> <tr> <td>検討着手</td> <td>試験実施</td> <td>実施</td> </tr> </table>           | GPAの導入      |       |         | 17年度 | ～      | 21年度 | 検討着手   | 試験実施   | 実施 | <p>当初の計画では、GPA制度の導入がすなわち適切な成績評価の実施と捉えられ、実施計画が立てられていたが、本学の教育体制を検証したところ、そうした現状とは言い切れないことが明らかとなった。よって、中期計画の変更の必要もあると考えられる。</p> | <p>GPAの導入には、まず適正な評価を行うための授業の到達目標を明確化する必要がある。学部改革プロジェクトにおいて、教務電算システムにより、データを収集すると共に、作業を開始する予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>科目ごとの成績評価の分布を調査</li> <li>学部改革プロジェクトの中で、厳正な成績評価方法について検討</li> </ul> |
| GPAの導入  |             |       |         |      |        |      |  |  |    |   |   |
| 17年度  | ～           | 21年度  |         |      |        |      |  |  |    |   |   |
| 検討着手  | 試験実施        | 実施    |         |      |        |      |  |  |    |   |   |
| <p>【I-2-(2) 大学院教育の内容等に関する目標を達成するための具体的方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>横浜市などの行政機関、産業界、地域住民、NPO・NGOや地域の諸大学、独立行政法人研究機関などと連携する他、海外の教育研究機関とも単位互換協定を締結する。(国際総合科学研究科)</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">単位互換協定</td> </tr> <tr> <td colspan="2">17～22年度</td> </tr> <tr> <td colspan="2">検討及び実施</td> </tr> </table> | 単位互換協定      |       | 17～22年度 |      | 検討及び実施 |      | <p>現在、大学院の組織改編を検討しており、組織が整備されていない中での協定締結は現実的でない。</p> <p>また、今後大学院組織の改編を行う可能性が高いことを考慮すると、スケジュールの面においても、中期計画期間内に協定締結まで実施するのは困難であると思われる。</p> | <p>単位互換協定の締結については、大学院の組織改編がなされ、体制が整備された時点で検討を進めることとしたい。</p> <p>大学院においては、単位互換よりも、研究者や学生の派遣・受け入れを促す学術交流といった形で協定を締結する方が実態に即した面もあり、協定を締結する場合には、その意義や内容について十分検討する必要がある。</p> |    |   |   |
| 単位互換協定  |             |       |         |      |        |      |  |  |    |   |   |
| 17～22年度   |             |       |         |      |        |      |  |  |    |   |   |
| 検討及び実施  |             |       |         |      |        |      |  |  |    |   |   |

| <p><b>【IV-1 安全な医療の提供のための取組】</b><br/> ・安全性、業務改善など総合的な医療サービスの質について ISO9001 の認証を受けるための取組を行うことにより、職員の経営参画意欲の喚起と業務の標準化・効率化を進める。さらに、併せて ISO14001 の取得を目指す。</p>   | <p>中期計画では ISO と同じ第三者評価である病院機能評価については継続取得となっているが、平成 17 年 7 月より評価項目の内容が変更され、審査内容も厳しくなっている。この病院機能評価と ISO9001 の審査内容についてはほとんどのものが重複している。また、病院機能評価は 5 年、ISO は 3 年ごとの更新になるが、両者を並行して取得・更新していくことは受審に向けた事前準備作業など病院にかかる負担は大きいものとなる。</p> | <p>左記の中期計画にある「職員の経営参画意欲の喚起と業務の標準化・効率化を進める」ことについては、病院機能評価を継続取得する取組の中で達成させていく方針に変更することとしたい。</p> <p>また、ISO14001 については、法人全体の取組のなかで、環境管理計画を策定し取組む方針に変更することとしたい。</p> |         |     |        |       |       |       |     |     |      |    |  |  |         |    |   |   |    |      |    |   |        |                |  |  |       |       |   |    |    |   |  |  |   |   |
|---|--|--|---------|-----|--------|-------|-------|-------|-----|-----|------|----|--|--|---------|----|---|---|----|------|----|---|--------|----------------|--|--|-------|-------|---|----|----|---|--|--|---|---|
| <table border="1"> <tr><th colspan="5">ISO9001 認証取得</th></tr> <tr><td></td><td>H17</td><td>H18</td><td>H19</td><td>H20</td><td>H22</td></tr> <tr><td>附</td><td></td><td></td><td>準備・一部取得</td><td>拡充</td><td>→</td></tr> <tr><td>七</td><td>準備</td><td>一部取得</td><td>拡充</td><td>→</td><td>病院全体取得</td></tr> </table><br><table border="1"> <tr><th colspan="2">ISO14001 の認証取得</th></tr> <tr><td></td><td>17 年度</td><td>19 年度</td></tr> <tr><td>附</td><td>準備</td><td>取得</td></tr> <tr><td>七</td><td></td><td></td></tr> </table> | ISO9001 認証取得   |  |         |     |        |       | H17   | H18   | H19 | H20 | H22  | 附  |  |  | 準備・一部取得 | 拡充 | → | 七 | 準備 | 一部取得 | 拡充 | → | 病院全体取得 | ISO14001 の認証取得 |  |  | 17 年度 | 19 年度 | 附 | 準備 | 取得 | 七 |  |  | <p>現状においても市と同等の取組を実施しており、ISO14001 を取得する方法によらなくとも環境負荷を効果的に低減することが可能である。このため、ISO の趣旨をふまえた独自の環境管理計画を策定して省資源、省エネルギー、それらに伴う事務改善等に努めることとする。</p> | <p>12 月 方針変更の確認<br/>(評価委員会)</p> <p>1～5 月 環境管理計画の策定<br/>(環境管理規定、推進体制、改善目標、改善計画、マニュアル)</p> <p>環境負荷を軽減する研究及び学生に対する環境教育を進めるなど大学ならではの取組を進めていきます。</p> |
| ISO9001 認証取得  |  |  |         |     |        |       |       |       |     |     |      |    |  |  |         |    |   |   |    |      |    |   |        |                |  |  |       |       |   |    |    |   |  |  |   |   |
|   | H17  | H18  | H19     | H20 | H22    |       |       |       |     |     |      |    |  |  |         |    |   |   |    |      |    |   |        |                |  |  |       |       |   |    |    |   |  |  |   |   |
| 附   |  |  | 準備・一部取得 | 拡充  | →      |       |       |       |     |     |      |    |  |  |         |    |   |   |    |      |    |   |        |                |  |  |       |       |   |    |    |   |  |  |   |   |
| 七   | 準備   | 一部取得   | 拡充      | →   | 病院全体取得 |       |       |       |     |     |      |    |  |  |         |    |   |   |    |      |    |   |        |                |  |  |       |       |   |    |    |   |  |  |   |   |
| ISO14001 の認証取得  |  |  |         |     |        |       |       |       |     |     |      |    |  |  |         |    |   |   |    |      |    |   |        |                |  |  |       |       |   |    |    |   |  |  |   |   |
|   | 17 年度  | 19 年度  |         |     |        |       |       |       |     |     |      |    |  |  |         |    |   |   |    |      |    |   |        |                |  |  |       |       |   |    |    |   |  |  |   |   |
| 附   | 準備   | 取得   |         |     |        |       |       |       |     |     |      |    |  |  |         |    |   |   |    |      |    |   |        |                |  |  |       |       |   |    |    |   |  |  |   |   |
| 七   |  |  |         |     |        |       |       |       |     |     |      |    |  |  |         |    |   |   |    |      |    |   |        |                |  |  |       |       |   |    |    |   |  |  |   |   |
| <p><b>【V-1-(4) 施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための具体的方策】</b><br/> ・地域環境への負荷を継続的に低減し、環境保全に向けた取組をより一層明確にしていくため、ISO14001 を取得する。</p>  | <p>現状においても市と同等の取組を実施しており、ISO14001 を取得する方法によらなくとも環境負荷を効果的に低減することが可能である。このため、ISO の趣旨をふまえた独自の環境管理計画を策定して省資源、省エネルギー、それらに伴う事務改善等に努めることとする。</p>  | <p>12 月 方針変更の確認<br/>(評価委員会)</p> <p>1～5 月 環境管理計画の策定<br/>(環境管理規定、推進体制、改善目標、改善計画、マニュアル)</p> <p>環境負荷を軽減する研究及び学生に対する環境教育を進めるなど大学ならではの取組を進めていきます。</p>                |         |     |        |       |       |       |     |     |      |    |  |  |         |    |   |   |    |      |    |   |        |                |  |  |       |       |   |    |    |   |  |  |   |   |
| <table border="1"> <tr><th colspan="4">ISO14001 の取得</th></tr> <tr><td>17 年度</td><td>18 年度</td><td>19 年度</td><td>22 年度</td></tr> <tr><td>検討</td><td>準備</td><td>取得運用</td><td>更新</td></tr> </table>  | ISO14001 の取得   |  |         |     | 17 年度  | 18 年度 | 19 年度 | 22 年度 | 検討  | 準備  | 取得運用 | 更新 |  |  |         |    |   |   |    |      |    |   |        |                |  |  |       |       |   |    |    |   |  |  |   |   |
| ISO14001 の取得  |  |  |         |     |        |       |       |       |     |     |      |    |  |  |         |    |   |   |    |      |    |   |        |                |  |  |       |       |   |    |    |   |  |  |   |   |
| 17 年度   | 18 年度  | 19 年度  | 22 年度   |     |        |       |       |       |     |     |      |    |  |  |         |    |   |   |    |      |    |   |        |                |  |  |       |       |   |    |    |   |  |  |   |   |
| 検討  | 準備   | 取得運用   | 更新      |     |        |       |       |       |     |     |      |    |  |  |         |    |   |   |    |      |    |   |        |                |  |  |       |       |   |    |    |   |  |  |   |   |

《参考》 年度計画におけるPDCAサイクル

